

F-Secure Policy Manager Proxy for Windows 15 Series

Install Guide

エフセキュア株式会社



● 免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社（以下、弊社）は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果について、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告なく変更する場合があります。

● 商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号／ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

● 複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

● お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 japan@f-secure.co.jp までご連絡ください。

1. リリースノートをご覧頂き、対象サーバ機が Policy Manager Proxy の動作要件を満たしているかご確認ください。
(併せて Policy Manager Proxy 管理者ガイドもダウンロードください。)

[\[Policy Manager Proxy リリースノート\]](#)

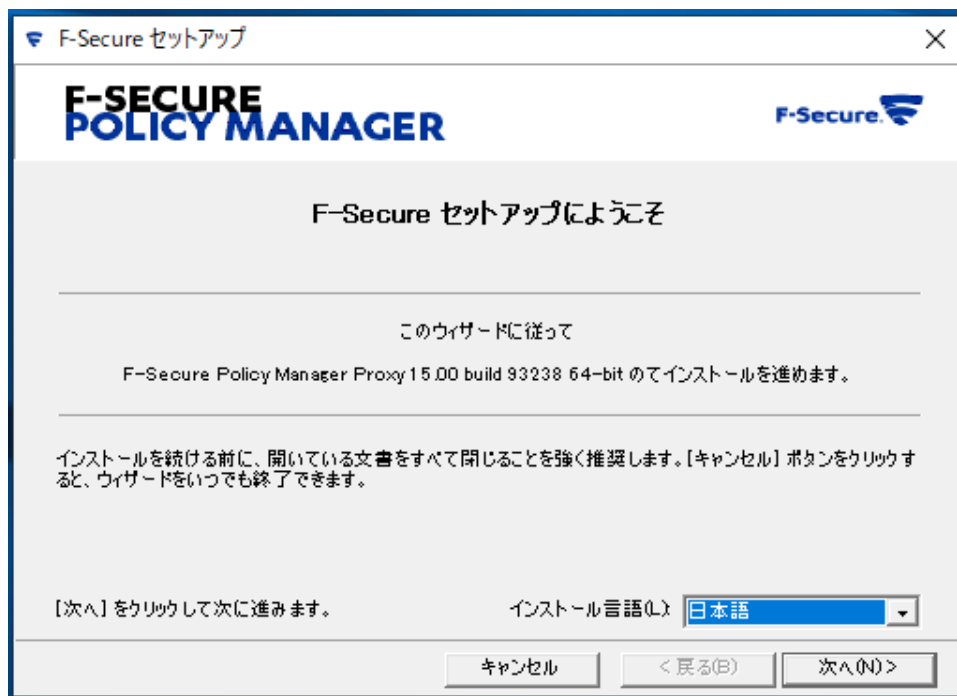
[\[F-Secure Policy Manager Proxy 管理者ガイド\]](#)

2. 以下のサイトよりインストーラをダウンロードします。

[\[Policy Manager Proxy ダウンロード\]](#)

3. ダウンロード頂いたインストーラを管理者権限で実行します。

4. インストール言語を選択して[次へ]を押します。



5. 使用許諾契約に同意頂ける場合、“同意する”を選択し[次へ]を押します。



6. インストールコンポーネントを選択し[次へ]を押します。



7. インストール先フォルダを選択し[次へ]を押します。



8. Policy Manager との通信情報を設定し[次へ]を押します。
Policy Manager による管理を行わない場合には、サーバアドレスを 0.0.0.0 と入力してください。



9. 手順8にて Policy Manager のサーバアドレスを入力された/0.0.0.0 と入力された場合で以下の通り進めます。


9-1. Policy Manager のサーバアドレスを入力された場合：

Policy Manager との通信時に用いる公開鍵ファイルを指定し[次へ]を押します。

指定する公開鍵ファイルの取得につきましては、後述させて頂く“公開鍵ファイルの取得について”をご覧ください。

Policy Manager Console ログイン時のユーザー名・パスワードを入力し[次へ]を押します。

Policy Manager Proxy の各モジュールポートを指定し[次へ]を押します。



ポートを設定する

F-SECURE
POLICY MANAGER

F-Secure

ポリシー マネージャ プロキシの各モジュールのポートを設定してください。

HTTP ポート(H)

HTTPS ポート(S)

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) >

HTTP ポート:

各ホストが Policy Manager Proxy からパターンファイルを取得する際のポート番号です。

HTTPS ポート:

各ホストが Policy Manager Proxy から設定の取得やステータス送信に用いる際のポート番号です。

9-2. Policy Manager のサーバアドレスを 0.0.0.0 と入力された場合：
Policy Manager Proxy の各モジュールポートを指定し[次へ]を押します。

ポートを設定する

**F-SECURE
POLICY MANAGER**

ポリシー マネージャ プロキシの各モジュールのポートを設定してください。

HTTP ポート(H)

HTTPS ポート(S)

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) >

HTTP ポート：

各ホストが Policy Manager Proxy からパターンファイルを取得する際のポート番号です。

HTTPS ポート：

各ホストが Policy Manager Proxy から設定の取得やステータス送信に用いる際のポート番号です。

10. [開始]を押して頂きインストールを開始します。



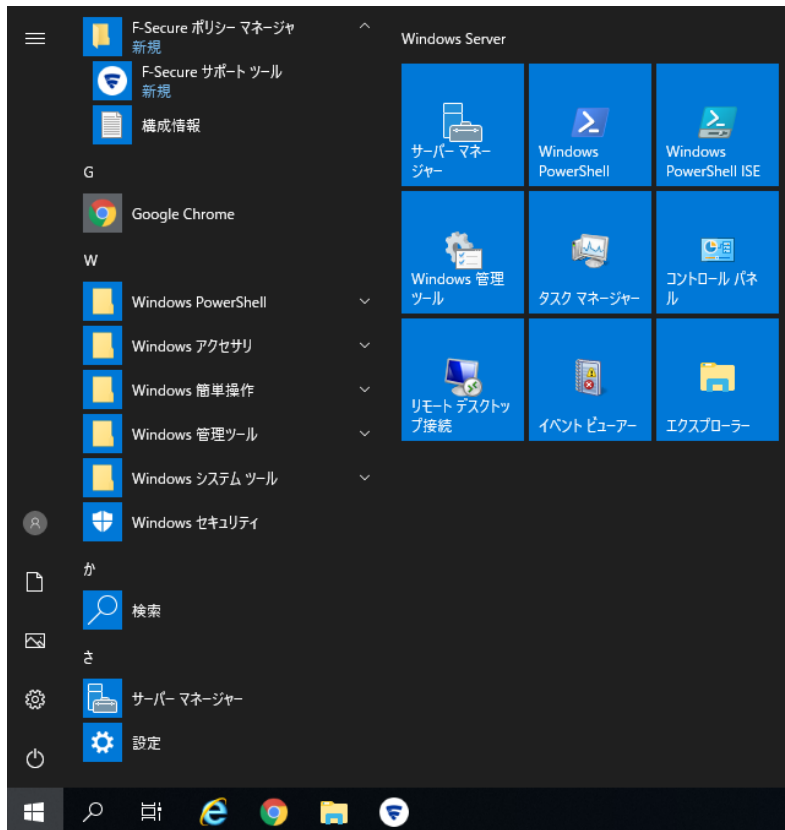
11. インストールが完了致しましたら[次へ]を押します。



12.[完了]を押していただきインストールを完了します。



13.インストール後にご利用いただける各アプリケーションは以下の通りとなります。



F-Secure サポートツール:

Policy Manager に障害等問題が発生し弊社にてお調べする場合に情報を収集するツールです。

構成情報

インストール時に設定されたポート番号等をメモ帳にてご確認頂けます。

※ 公開鍵ファイルの取得について

以下の通りブラウザを起動頂き、http://ポリシーマネージャアドレス:ポート番号 にてアクセス頂きますと Policy Manager の画面が表示されます。

文面内の“ここ”をクリックし保存先を指定して頂きますと公開鍵ファイル: admin. pub を取得頂けます。



※Policy Manager Proxy インストール時の運用モードについて

Policy Manager Proxy には以下の二つの運用モードがあります。
インストール時、フォワードモードにてインストールされます。

・フォワードモード(デフォルト値)

Policy Manager Proxy がパターンファイルを取得する際、インターネットから直接取得を行います。このモード Policy Manager が存在しないもしくはパターンファイルを取得させたくない場合に使用するモードとなります。

・リバースモード

Policy Manager Proxy がパターンファイルを取得する際、Policy Manager から取得を行うモードとなります。Policy Manager が存在する環境では、こちらのモードでの運用をお勧め致します。

リバースモードへの変更につきましては、レジストリの変更及び弊社サービスの再起動にて実施頂けます。

1. レジストリエディタを管理者権限で起動します。
2. 次の文字列レジストリキーが存在するか確認し存在しなければ作成します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE (Wow6432Node) ¥Data Fellows¥F-Secure¥  
Management Server 5¥additional_java_args
```

3. Java システムプロパティを設定します。

上記文字列レジストリキーに以下の値を入力します。
(先頭の”-“から入力頂き、大文字小文字も正確に入れてください。

```
-DreverseProxy=true
```

4. 弊社サービスの再起動を実施します。

コントロール>管理ツール>サービスを管理者権限にて起動頂き以下の弊社サービスを再起動します。

F=Secure ポリシーマネージャプロキシ

レジストリ エディター

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)

名前	種類	データ
ab (既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
ab additional_java_args	REG_SZ	-DreverseProxy=true
ab AdminPortNum	REG_DWORD	0x00001f90 (8080)
ab AUSPortNum	REG_DWORD	0x0000094c (2380)
ab CurrentVersion	REG_SZ	14.10
ab FirstInstallationTime	REG_QWORD	0x16a952ba741 (1557280827201)
ab HttpPortNum	REG_DWORD	0x00000050 (80)
ab HttpsPortNum	REG_DWORD	0x000001bb (443)
ab InstallationDirectory	REG_SZ	C:\Program Files (x86)\F-Secure\Management Server 5
ab InstallationTime	REG_QWORD	0x16a952ba741 (1557280827201)
ab java_args	REG_SZ	-XX:+UseG1GC -DupstreamPmHost=pm1410.vcloud.f-secure.
ab PrevVersion	REG_SZ	13.12.84149
ab RestrictLocalhost	REG_DWORD	0x00000001 (1)
ab ServerAddress	REG_SZ	localhost
ab UninstallKey	REG_SZ	F-Secure Management Server 5
ab wrEnabled	REG_DWORD	0x00000000 (0)
ab WRPortNum	REG_DWORD	0x00001f91 (8081)

コンピューター\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\Data Fellows\F-Secure\Management Server 5